

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課題	11-2 暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立（ヤマザクラ等の新たな実証試験林（展示林等）の造成）			継 続 担 新 規 当	森林技術 センター （業務第1係）	開 発 箇 所	鱈頭国有林 76ほ ₂ 林小班			
目的	有用広葉樹（ヤマザクラ・イヌエンジュ等）及び特用樹の広葉樹適地判定育成技術等の人工林施業体系化の確立を目的とし、施業実績や実証データを収集し、暖温帯有用広葉樹等の展示林等として活用する。			開発期間		平成8年度～平成66年度				
年度別実施経過		12年度実施報告			年度実施計画					
		実施内容	備考 （評価及び普及指導）							
<p>平成8年度</p> <p>1, 試験地設定</p> <p>2, 植付（春植）</p> <p>3, 樹高・根元径・枝長の測定</p> <p>4, 試験地標示</p> <p>5, 施肥</p> <p>平成9年度</p> <p>1, 下刈</p> <p>2, つる切</p> <p>3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長）</p> <p>4, 施肥</p> <p>平成10年度</p> <p>1, 下刈</p> <p>2, つる切</p> <p>3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長）</p> <p>4, 施肥</p> <p>5, 補植</p> <p>平成11年度</p> <p>1, 下刈</p> <p>2, つる切</p> <p>3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長）</p> <p>4, 補植</p>		<p>1, 下刈</p> <p>面積：1.00ha</p> <p>人工数：16,500人</p> <p>ヤマザクラ：筋刈林縁2列程度は無下刈 （野兎防除対策）</p> <p>センダン・キリ：筋刈</p> <p>ユリノキ・ミズメ：全刈</p> <p>2, 生長量調査</p> <p>平成12年12発実施 野帳別途保管</p>	<p>1, 実施結果</p> <p>センダン・ヤマザクラは生育良好である。キリについては、コウモリガ・寒風害の被害が発生し生育不良及び枯損が発生している。</p> <p>ユリノキ・ミズメに野兎被害による枯損が発生したため、平成13年度に補植実行予定である。</p> <p>当試験地は、野兎防除対策が最大の課題である。</p>		実 施 計 画					
					経費科目					
					内 訳	品 名	数 量	単 価	金 額	
					物件費					
					役務費					
					人件費	基 職	()人			
						臨 時	人			
						計	()		千円	

(注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
 3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

(様式3-1)

試験経過記録

区分	自主課題
----	------

森林技術センター

平成12年度実施内容

1, 下刈

面積: 1.00ha

人工数: 16.500人

ヤマザクラ: 筋刈林縁2列程度は無下刈(野兎防除対策)

センダン・キリ: 筋刈

ユリノキ・ミズメ: 全刈

2, 生長量調査

径級・樹高・枝張り測定 別途野帳保管

人工数: 4.500人

考察

センダン・ヤマザクラは生育良好である。キリについては、コウモリガ・寒風害の被害が発生し生育不良及び枯損が発生している。

ユリノキ・ミズメに野兎被害による枯損が発生したため、平成13年度に補植実行予定である。

当試験地は、野兎防除対策が最大の課題である。

平成 年度実施内容

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

状況記録写真

区分 自主

森林技術センター

(様式6)



平成12年度76ほ、下刈実行後



平成12年度76ほ、下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	自主
----	----

森林技術センター



平成12年度76ほ₂下刈実行後

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課題	14-2 暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立（ヤマザクラ等の新たな実証試験林（展示林等）の造成）（その2）	継続 新規	担当	森林技術 センター （業務第I係）	開発 箇所	鱈頭国有林 76ほ2林小班	
目的	有用広葉樹（ヤマザクラ・イヌエンジュ等）及び特用樹の広葉樹適地判定育成技術等の人工林施業体系の確立を目的とし、施業実績や実証データを収集し、暖温帯有用広葉樹等の展示林等として活用する。	開発期間		平成8年度～平成6年度			
年度別実施経過	13年度実施報告		14年度実施計画				
	実施内容	備考 （評価及び普及指導）		14年度実施計画			
<p>平成8年度</p> <p>1, 試験地設定 2, 植付（春植） 3, 樹高・根元径・枝長の測定 4, 試験地標示 5, 施肥</p> <p>平成9年度</p> <p>1, 下刈 2, つる切 4, 施肥 3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定）</p> <p>平成10年度</p> <p>1, 下刈 2, つる切 4, 施肥 5, 補植 3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定）</p> <p>平成11年度</p> <p>1, 下刈 2, つる切 4, 補植 3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定）</p> <p>平成12年度</p> <p>1, 下刈 2, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定）</p>	<p>1, 補植（4月） 人工数：4,000人 ミズメ 100本 ユリノキ 300本</p> <p>2, 下刈（6月） 人工数：16,750人 筋刈：ヤマザクラ・センダン 全刈：ユリノキ・ミズメ 坪刈：キリ</p> <p>3, 試験地調査（生長量） 平成14年1月調査（野帳別途保管） 人工数：1,500人</p>	<p>1, 実施結果 センダン・ヤマザクラは生育良好である。 キリについては、コウモリガの被害が発生し枯損が多い。 ユリノキ・ミズメに野兎食害による被害が発生している。 今後、野兎防除対策が最大の課題である。</p>		実施 計画	<p>1, 下刈 2, 生長量調査（樹高・根元径・枝長）</p>		
経費科目							
		品名	数量	単価	金額		
内 訳	物件費						
	役務費						
	人件費	基職	()人				
	臨時		人				
		計	()			千円	

(注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
 3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

平成12年度実施内容

1, 下刈

面積：1.00ha

人工数：16.500人

ヤマザクラ：筋刈林縁2列程度は無下刈（野兎防除対策）

センダン・キリ：筋刈

ユリノキ・ミズメ：全刈

2, 生長量調査

径級・樹高・枝張り測定 別途野帳保管

人工数：4.500人

考察

センダン・ヤマザクラは生育良好である。キリについては、コウモリガ・寒風害の被害が発生し生育不良及び枯損が発生している。

ユリノキ・ミズメに野兎被害による枯損が発生したため、平成13年度に補植実行予定である。

当試験地は、野兎防除対策が最大の課題である。

平成13年度実施内容

1, 補植（4月）

人工数：4.000人

樹種：ミズメ 100本 ユリノキ 300本

2, 下刈（6月）

人工数：16.750人

筋刈：ヤマザクラ・センダン

全刈：ユリノキ・ミズメ

坪刈：キリ

3, 試験地調査（生長量）

平成14年1月調査（野帳別途保管）

人工数：1.500人

考察

センダン・ヤマザクラは生育良好である。

キリについては、コウモリガの被害が発生し枯損が多い。

ユリノキ・ミズメに野兎食害による被害が発生した。

今後、野兎防除対策が最大の課題である。

状況記録写真

区分	自主
----	----

(様式6)



ユリノキ



センダン



ミズナ



全景

平成13年度 76ほ₂下刈実行前
平成13年6月18日撮影